



2024年6月24日

各 位

会 社 名 株式会社マナック・ケミカル・パートナーズ
代 表 者 名 代表取締役会長兼社長
杉之原 祥二
コ ー ド 番 号 4360 東証スタンダード
問 合 せ 先 責 任 者 専務取締役
笠井 正信

グループ中期計画【2024-27年度】策定に関するお知らせ

この度、2027年度（2028年3月期）を最終年度とするグループ中期計画を策定いたしましたので、その概要についてお知らせいたします。

当社グループは2024年3月期決算において、プラスチック用難燃剤需要の大幅減少により営業損失及び経常損失を計上しておりますが、2024-2025年度を事業再構築期間、2026-2027年度を事業拡大期間とし、足元の業績の早期回復に努めるとともに、企業価値向上に向けた成長投資を行ってまいります。

記

1. グループ中期計画【2024-27年度】の概要：

- ① 化学を基盤とした技術・製品の創出により社会に価値を提供し、社会課題の解決に貢献する。スペシャリティケミカル（機能性化学品）を活用し人々の暮らしの向上に挑戦し続ける
- ② 本中期計画期間（特に「事業再構築期間」）で事業ポートフォリオ再構築を実施し、事業基盤強化を図る
- ③ 人的資本も含めた成長投資によりグループ全体の事業拡大を図る

2. 重点成長投資項目：

- ① 湘南イノベーション研究所による、電子材料やバイオ等機能性材料・ヘルスケア・生産プラットフォーム等を対象とした新規事業の創出
- ② ファインケミカル事業における海外（特にインド及び欧州）を対象とした事業開拓
- ③ 金属不純物管理技術向上とヨウ素化合物を中心とした半導体関連新製品の開発、およびサステナブル素材のバイオマス由来複合材料 WPC（ウッドプラスチックコンポジット）の上市

本中期計画期間中、上記3項目を中心に総額100億円の成長投資を行ってまいります。

3. 数値目標：

2027年度（2028年3月期）の目標値は以下の通りです。

- 売上高：168億円以上（2023年度売上高実績96億円）
- 経常利益：14億円以上（2023年度経常損失実績0.1億円）
- ROE：8%以上（2023年度ROE実績0.7%）

本件に関するお問い合わせにつきましては、下記までご連絡をお願いいたします。

秘書室長 総合企画 吉田 tel:03-5931-0554

以上

マナック・ケミカル・パートナーズ（MCPs）

グループ中期計画【2024－27年度】

『スペシャリティーケミカルをベースに社会の進化・発展に貢献する』

- 化学を基盤とした技術・製品の創出により社会に価値を提供し、社会課題の解決に貢献する
- スペシャリティーケミカル（機能性化学品）を活用し人々の暮らしの向上に挑戦し続ける
- 「人的資本」も含めた「成長投資」によりグループ全体の事業拡大を図る
- 本中計期間で事業ポートフォリオ再構築を実施し、事業基盤強化を図る



マナック（事業会社）は、ファインケミカル（FC）、マテリアル・ソリューション（MS）、ヘルスサポート（HS）各事業部が既存および周辺事業の継続的事業拡大を図る。

実施

FC/MS/HS各事業部の
事業戦略に基づき、
既存/周辺事業を拡大



マナック・ケミカル・パートナーズ（持株会社）は、R&DやM&Aによる新規事業創出、事業会社への経営指導/サポートによりグループ全体の企業価値向上を図る。

実施

協力して実施

- 人材育成
- グローバル市場拡大
- 事業ポートフォリオ再構築による事業基盤強化

- コーポレートR&D
- M&A(新規事業/国内化学メーカー)
- DXの推進

現状

2023年度実績
連結売上96億円
経常損失0.1億円
ROE=0.7%、PBR=0.48

現状の課題

- **市況の影響が大きい難燃剤事業の依存度が高い**
- **グローバル市場への展開**
- **新製品・新規事業開発力**

事業環境

- **難燃剤需要は長期的には拡大見込も、短期的には中国経済減速により停滞**
- **社会/市場ニーズに応える新規事業創出による多角化に向けた成長投資**



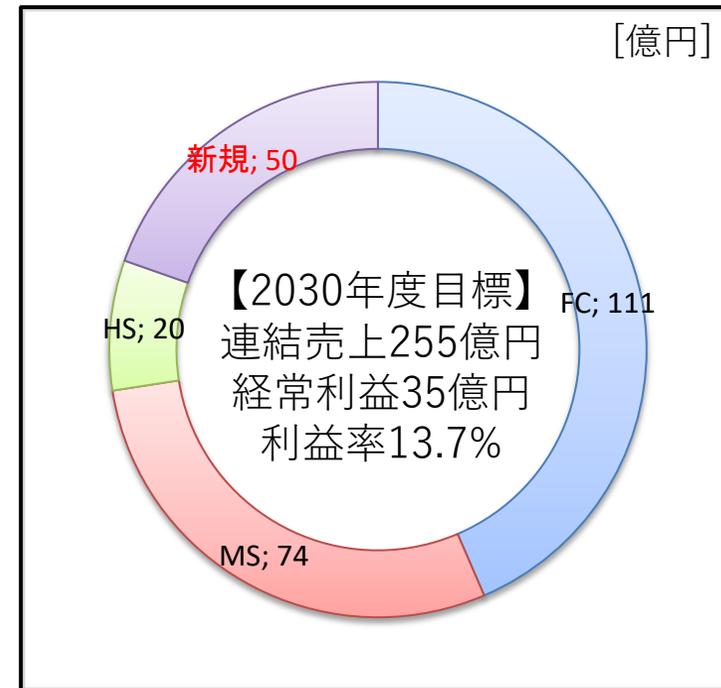
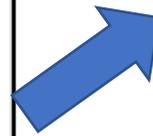
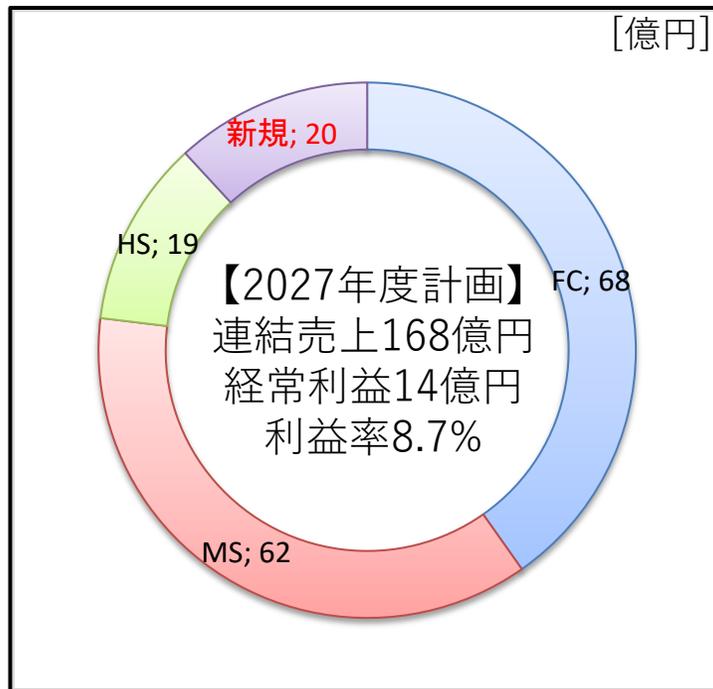
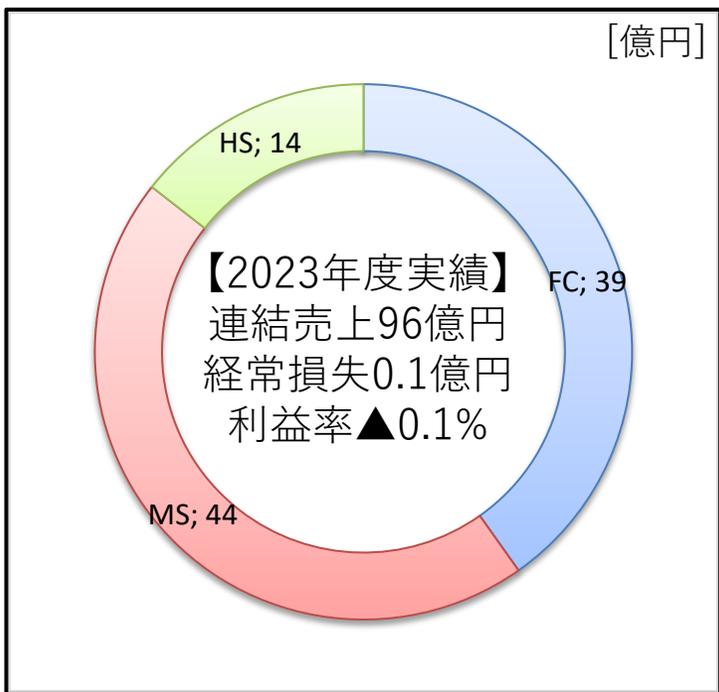
項目	MCPs 関与	投資額 [億円]	内容
新規事業	◎	55	バイオ化成品/ヘルスケア分野を中心に検討
海外事業	◎	30	インドでの生産/販売拠点設立 欧州での販売拠点設立
既存事業 新製品開発	○	15	半導体関連および複合材料

2027年度経営指標の目標
売上 > 168億円、経常利益 > 14億円、ROE > 8%

MCPsグループ経営目標（－2030年度）

2024－27年中期計画で
成長投資約100億円を実施

- ① 新規事業創出
- ② 海外事業展開
- ③ 既存事業新製品開発



2024－27年中期計画施策
が順調に推移した場合の
2030年度目標であり、
本資料にのみ記載

ファインケミカル（FC）事業部

事業環境

- 半導体・GMP中間体・ヨウ素化合物では市場拡大が見込まれる。

主な施策

- 上記高成長、高付加価値製品への製品シフトにより収益性の改善を図る。
- 金属管理技術を習得し半導体関連分野を開拓。
- 新規GMP中間体事業拡大を目指す。

ヘルスサポート（HS）事業部

事業環境

- 人工透析剤市場は液剤から固形剤へのシフトが進行し販売数量は微減。

主な施策

- 既存品販路拡大などで事業規模維持を図る。

マテリアル・ソリューション（MS）事業部

事業環境

- 長期的には緩やかな拡大が見込まれるが、短期的に中国経済減速の影響を受け、回復は2025年以降の見込。

主な施策

- 市況変化に対応できる柔軟な生産体制の構築
- 新規難燃剤を含む高付加価値な高分子添加剤、複合材料などの新製品開発。

海外事業

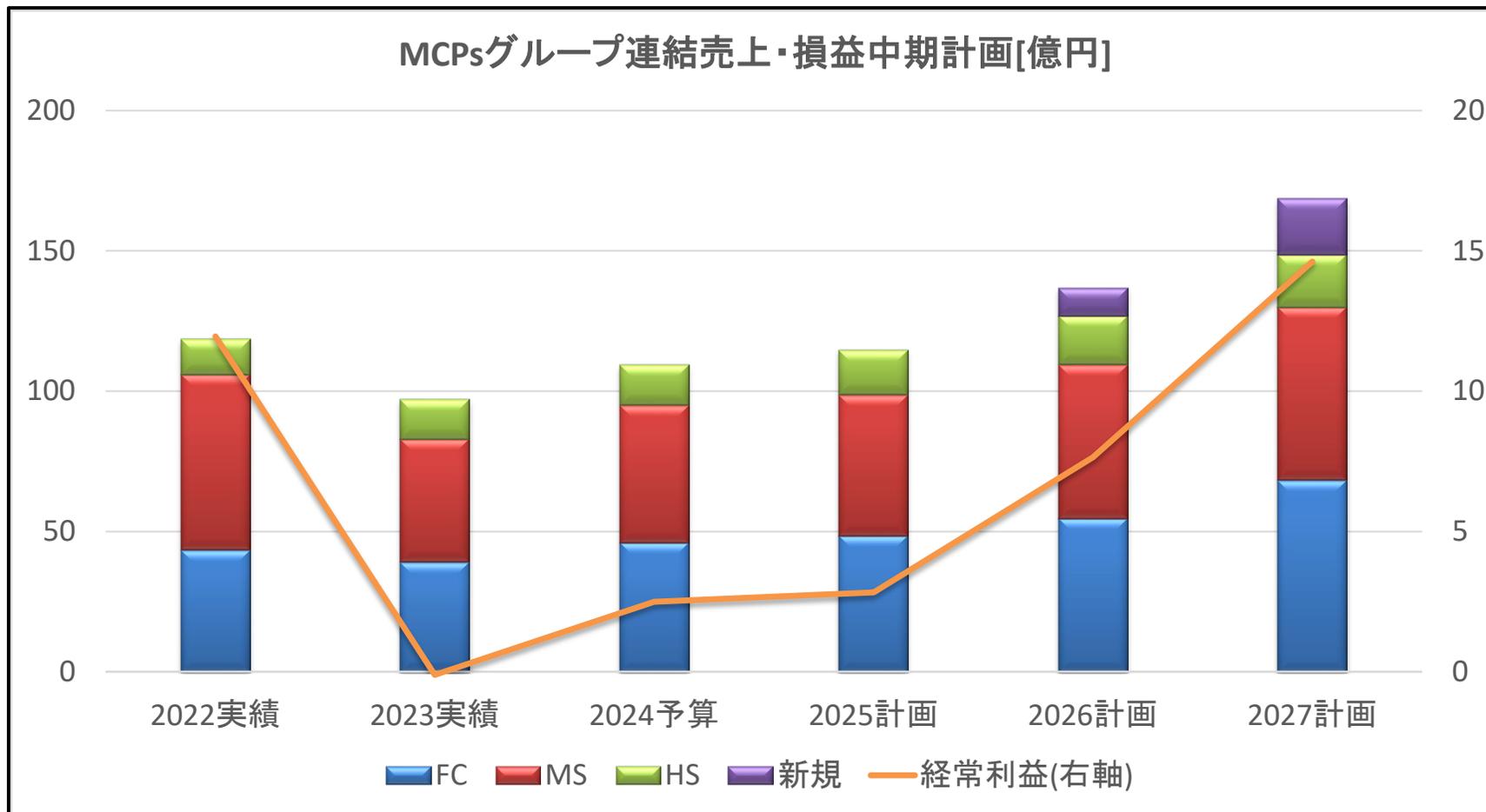
事業環境

- 為替は円安基調で国内生産海外販売に追い風。
- ファインケミカル市場としてインド市場開拓。

主な施策

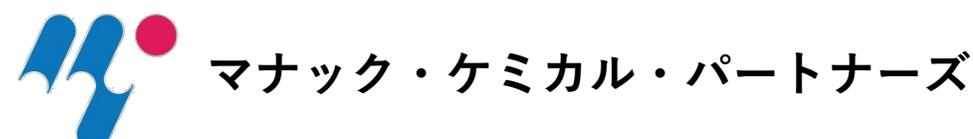
- 販売市場及び調達元としてのインド開拓。
- 欧米インド/東南アジアでの販売調達チャネル多角化。
- 臭素・ヨウ素を原料とした高付加価値化合物の海外販売。

MCPsグループ中期計画



- 1) 2024-27年で成長投資約100億円
- 2) 箕沖工場での能増・新規投資を計画
- 3) 新規事業はM&A、技術導入などを含む

周辺事業強化・新規事業創出への施策	内容
研究部門の再構築	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 新規事業創成拠点として湘南イノベーション研究所を強化
オープンイノベーション	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 湘南イノベーション研究所の立地を活用し、共同研究・協業を模索
M&A	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 新素材分野、ヘルスケア分野、連続生産分野を中心にM&Aを検討



- 金属管理技術
- GMP中間体
- 高分子添加剤

- フローリアクタ・連続生産
- 複合材料 (WPC)

- 新規テーマ探索
- 外部機関との共同研究
- M&A